

これからの時代における公用文作成の在り方について

文化審議会国語分科会国語課題小委員会 2018.7.20

聖心女子大学 岩田一成

1、公用文のわかりやすさに関する取り組み

・語彙レベル

A 各種言い換え提案『公用文作成の要領』昭和 27 年

稟請 申請 措置 処置・取扱い 救援する 救う
牙保 周旋・あっせん 拒否する 受け入れない

B 自治体発の取り組み「言葉の行革」 1970 年代

可及的速やかに 善処する 前向きに検討する 遺漏のないよう・・・

C 外来語言い換え（国立国語研究所「外来語」委員会編 2006） 2000 年代

バックオフィス アウトソーシング

実際にわかりやすさに関わっているのは語彙だけの問題ではないのではないか？

談話レベルのパターン 長い

例 1 1. 熱中症の発生は、日本では日差しが強く気温も高い 7 月、8 月に多いです。日差しが強く気温も高いときの戸外での活動には、特に注意が必要です。1 日の内では、午後 2 時から 5 時の間の発生が多いです。この時間帯には、気温も高く、それまでの炎天下の活動で脱水が進み疲労も蓄積しているためと思われます。日差しが強く気温も高いときは、戸外での活動はできるだけ控えましょう。戸外での活動は、日差しが弱く気温も低くなる朝・夕にしましょう。たとえば、一日の中でもっとも気温が低い午前 4 時から午前 7 時までに限りましょう。戸外では、帽子や日傘・パラソル等を使い影の中にできるだけ留まることで直射日光を浴びないようにしましょう。戸外で炎天下で活動するときには、直射日光を受けない涼しい場所を準備して、ときどきそこで休憩するようにしましょう。直射日光を避けることは、紫外線の浴びすぎによる健康への悪影響の予防のためにも役立ちます。当・Y 市衛生研究所ホームページ「紫外線と皮膚・眼について」もご参照ください。

談話レベルのパターン 硬い

例 2 『保育園の入園について』の「入園基準について」という項目

- 1 昼間に居宅外で労働することを常態としている場合
- 2 昼間に居宅内で乳幼児と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としている場合
- 3 妊娠中であるか又は出産後間がない場合（4 以下省略）

談話レベルのパターン 抽象的な言い回し

例 3 『テレビについて大切なお知らせです（地デジについて）』の一部

地デジは、今までのテレビ放送よりきれいな映像が楽しめるだけでなくあなたにやさしく便利な 21 世紀のテレビ放送です

* 談話レベルのパターンは、わかりやすくするルールが作りにくい

語彙レベルはこれが簡単にできる

バックオフィス 事務管理部門
アウトソーシング 外部委託外部委託

2、わかりやすさ vs 事務コスト

・ペンシルベニア州の例 わかりやすさがコスト増につながる（東 1997）

「生活保護打ち切りに関するお知らせ」

元文章 300 件の申し立て

改定文章 1000 件の申し立て

* わかりやすさはコスト減につながることもある

Ex 高齢者向けのお知らせ類

3、わかりやすさ vs 品や丁寧さ

・「やさしい日本語」にすると品がなくなる

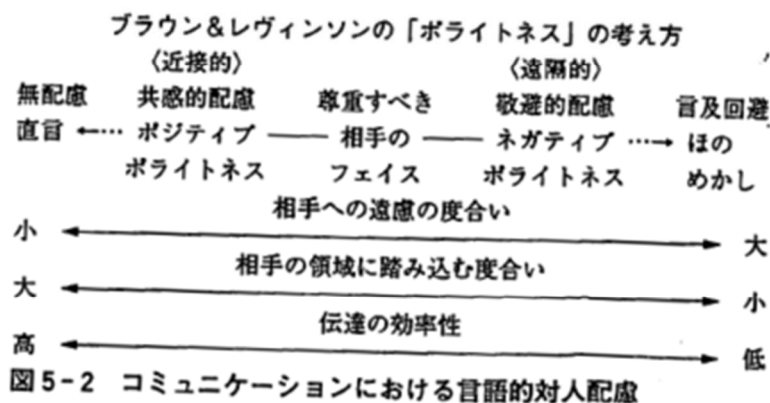
Q 以下を比較してみましょう。

a 直ちにお支払いいただくとありがたいんですけど・・・。

b 今すぐお金を払ってください。

* 宇佐美（2013）の実験、ポライトネス理論（滝浦・大橋 2015 より）からもこれは明らか

ポライトネス理論（滝浦・大橋2015より）



* 待遇表現は複雑化している（井上編 2017）

岡崎調査おつり場面（もらったおつりが間違っている場面）

1953年 37歳男性

これじゃ間違っとるで、もういっぺん調べてくれ

1972年 36歳男性

ちょっとすみませんけど、おつりが足りないんですが

2008年 35歳女性

あ、すみません。おつり、これちょっと足りない気がするんですけど。ちょっと見てもらってもいいですか

背後にあるのは他者警戒、公務員に訴訟対策保険も同じ流れか（朝日 2012年 12月 30日）

4、わかりやすさ vs 詳細情報

例4 月途中入退園の保育料

月の初日以外の日に入園し、又は月の末日以外の日に退園した乳幼児の入園月又は退園月の保育料の額は、日割りした額となります。ただし 月の初日が休園日の月に、その月の休園日でない最初の日に入園するとき、又は月の末日が休園日の月に、その月の休園日でない最後の日に退園するときなどは、日割り計算はしません。

5、課題のまとめ

- 1、談話レベルの文章書き換えマニュアルは難しい
- 2、わかりやすさはコストに関わる（プラスとマイナス）
- 3、わかりやすさはポライトネスに反する
- 4、わかりやすさは詳細提示に反する

2、についてはプラスをアピールしていく

1、3、4については『分かり合うための言語コミュニケーション』（p19・37など）が参考になる。

同じタイプのガイドラインを作るのがいいのではないか？

談話レベルのパターン別のルールを提示するべき

参考文献

東照二（1997）『社会言語学入門』研究社

井上史雄編（2017）『敬語は変わる 大規模調査からわかる百年の動き』大修館書店

岩田一成（2016）『読み手に伝わる公用文：やさしい日本語の視点から』大修館書店

宇佐美洋（2013）『「やさしい日本語」を書く際の配慮・工夫の多様なあり方』庵功雄・イヨンスク・森篤嗣編『「やさしい日本語」は何を目指すか：多文化共生社会を実現するために』ココ出版 pp.219-236

国立国語研究所「外来語」委員会 編（2006）『外来語言い換え手引き 分かりやすく伝える』ぎょうせい

滝浦真人・大橋理枝（2015）『日本語とコミュニケーション（放送大学教材）』放送大学教育振興会

文化庁（2011）『公用文の書き表し方の基準（資料集）』文化庁